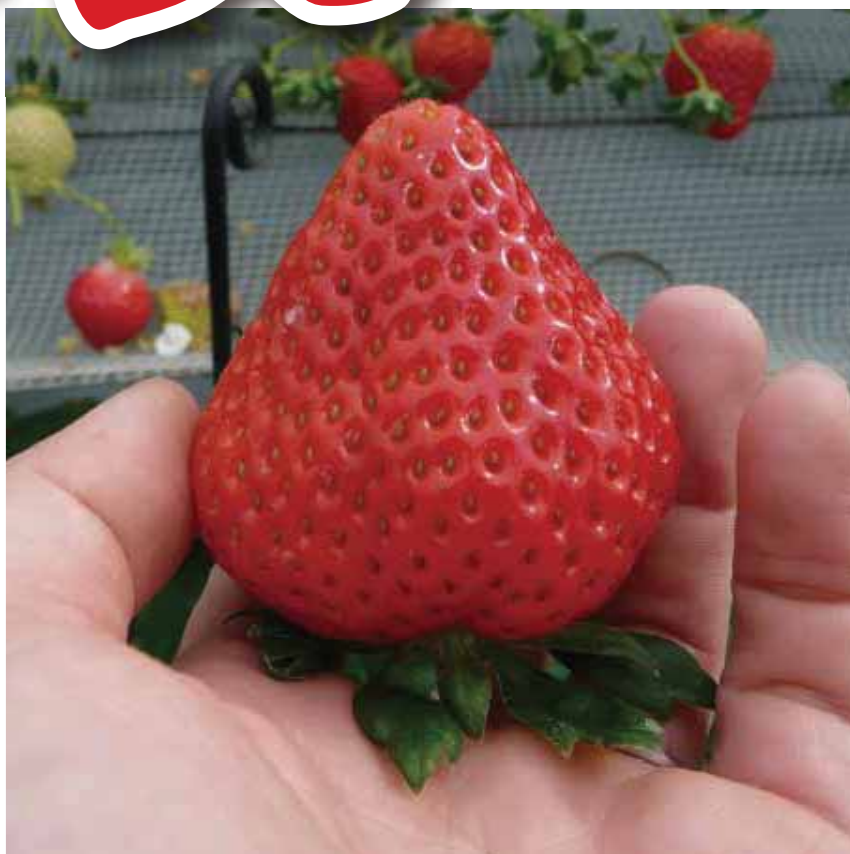


農

研修生募集案内

九州沖縄農業研究センター
農業技術研修課程



農業技術 研修制度の 紹介

地域の野菜生産現場における
中堅指導者等になりうる人材の養成を
目的としています。



特色

この研修制度は、旧農林水産省 野菜・茶業試験場（野菜試験場）久留米支場 農業技術研修制度から引き継がれたもので、高等学校卒業、またはこれと同等以上の能力を有する者を対象とした、野菜の栽培・生産に関する専門知識・技術を修得するための制度です。

内容

- 研修期間は2年間です。
- 当センターの研究者らによるそれぞれの専門分野の講義、ならびに実習を行います。
- 各研究グループ（別ページに記載）における技術開発、品種改良等に関する研究課題の遂行に関与しながら行う実習により、新しい知識・技術を習得することが、この研修制度の特徴です。

農業次世代人材投資事業（準備型）全国型教育機関に認定



本研修制度は、農業次世代人材投資事業（準備型）全国型教育機関に認定（平成26年3月28日：25会議所発第1213号）されており、研修期間中に給付金を受け取ることができます。

農業次世代人材投資事業とは、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、就農前の研修期間（2年以内）及び経営が不安定な就農直後（5年以内）の所得を確保するために、国が申請者に対して給付金を給付する制度です。条件が整えば、研修期間内に300万円（1年当たり150万円）の給付金を受け取ることが出来ます。

よくある 質問

この制度は名称を変えながら、今年で73年目を迎え、今までに1,823名（平成30年3月31日現在）の修了生を送り出しています。今までに寄せられたご質問の中から特に多かったものについて、Q&Aを作成しました。

Q1 どんな人が研修を受けられるの？

A1

この制度の本来の目的は、野菜栽培農家の後継者、地域の指導者的役割を担える者の育成です。研修の受講対象者は、高等学校卒業（見込み）の者またはこれと同等以上の能力を有する者です。明日の野菜栽培農家だけでなく、農業関係の仕事への従事を目指す意欲のある方であれば、男女を問いません。

Q2 受講に当たり、年齢制限はあるの？

A2

問い合わせの中には、「会社を定年退職した後、実家に戻り、野菜生産を法人経営したいのだが、そちらの研修を受けられるのか？」という意味合いのものがああります。この制度は、基本的に高校または大学を卒業して、これから農業を継いでいこうという方や農業生産法人等への雇用就農等、農業関係の仕事に従事したいと考えられている方を対象としており、カリキュラムもそのように設定されています。受講資格に合えば、年齢制限はありません。

Q3 研修中の宿舎（寮）は完備されているの？

A3

平成25年6月に、筑後・久留米研究拠点（久留米）の構内に研修生宿舎「耕心寮」が新しく整備されました。1人1室を利用でき、約10m²の洋室で空調設備、インターネット環境及びテレビ受信装置が完備されています。食事は専属の調理師により用意されます。男子研修生は原則全寮制で、2年間研修生寮に入寮します。ただし、年齢、既婚等、その他の諸事情により入寮が困難な場合は考慮します。また、女子研修生は、自宅または民間賃貸住宅から通学します。近くに私立大学があり、学生向けの物件が多くあります。



実習

当研究センターの研究員等による指導のもと、技術開発、品種改良に関する研究課題の遂行に関与しながら、野菜栽培に関する知識・技術を習得します。



平成21年度農林水産省補正予算により植物工場施設が整備され、九州管内の公立試験研究機関として唯一、太陽光利用型植物工場と完全人工光型植物工場を利用して、野菜栽培における環境・生育制御に関する研究を行っています。個々の生産農家への植物工場の導入は難しいと考えられますが、植物工場は季節・地域に関わらず周年的な計画・安定・多収生産技術として注目を集めており、環境・生育制御技術は野菜の施設栽培だけでなく、露地野菜栽培にも応用できるものです。



太陽光利用型植物工場



完全人工光型植物工場



講義

2年間の講義について

当センターの研究員らによるそれぞれの専門分野の講義、ならびに実習を行います。また、最新の施設を利用しながら、技術の習得が行えます。さらに、特別講義としてパソコンや商業簿記、農業経営など、研修生OBによる特別講義も実施しています。



なるりん

Q4 研修ではどんなことをするの？ 何を学ぶの？

A4

研修では、講義、実習の他、いろいろなカリキュラムがあります。

講義

野菜栽培の基礎となる専門科目として、野菜総論・各論、病害総論・各論、虫害総論・各論、植物生理、植物バイオテック、養液栽培、園芸肥料、土壌概論、農産加工、気象概論等があります。また、一般教養科目として、英語のほかにパソコンの授業等も取り入れています。日本でも屈指の先端技術についての研究を行っている、当研究センターの研究員が講師となり、それぞれの専門分野の講義を担当します。さらに、企業経営者、学識経験者、有識者や職員・研修生のOBまたはOG等の外部講師を招いて特別講義を行い、種苗法、施設園芸から農業経営の実践等について学びます。その他、施設野菜・露地野菜栽培、養液栽培についての現場講義があります。なお、各科目の課程を終了した後に、講義の効果を評価するための筆記試験またはレポート作成を義務付けています。

実習

イチゴ育種、イチゴ栽培および施設野菜の各研究グループにおいて、研究者等によるマンツーマンに近い指導のもと、技術開発、品種改良等に関する研究課題の遂行に関与しながら、実習を行います。研究課題の遂行に関与することで、基本的な栽培技術だけでなく、先端の知識・技術を習得することができます。

現地研修

九州管内の主要な野菜生産地だけでなく、近畿、東海、関東地方の農業生産法人、試験研究機関、卸売市場等を視察し、生産、流通の現状、ならびに新しい品種・技術開発の動向を学びます。視察先は、公設の農業研究所、大規模生産法人、6次産業に関連する生産法人、植物工場施設、野菜卸売市場、都内有名デパート野菜売り場等です。

セミナー

各自興味のあるテーマについて、資料・文献等により現状・問題点等を調査し、これからの展望や解決策等について考察した結果をとりまとめ、他の研修生等の前で発表します。セミナーを通じて、情報収集力、問題解決力、プレゼンテーションの能力等が養われます。

卒業論文

2年生に進級すると、それぞれの研究グループに配属されます。配属先の研究グループで研究者の指導のもと、研究グループの研究課題に則したテーマを選び、卒業論文作成のための研究を行います。卒業論文は2年間の研修の集大成として取りまとめられ、3月中旬に卒業論文発表会を開催します。この卒業論文発表会は、農業新聞に取り上げられ、保護者の出席も歓迎いたします。

その他

毎月第3水曜日の15:30~17:15は体育を行い、研修生同士のコミュニケーションを図るようにしています。



研究 グループの 紹介

イチゴ育種グループ

イチゴは全国野菜生産額のトップクラスの重要な園芸作物です。イチゴ育種グループは、イチゴの収益性のさらなる向上のため、高品質化と生産性向上をめざした品種改良及び育種技術の開発を主な研究テーマとしています。特に、大規模施設栽培において必要とされる少量培地での栽培適性を有する多収品種、健康機能性に富んだ品種等の育成に取り組んでいます。



イチゴ栽培グループ

暖地・温暖地の施設イチゴ生産基盤を強化するために、大規模経営を可能にする安定多収生産システムの開発に取り組んでいます。太陽光利用型植物工場において、化学農薬を使用しない蒸熱処理による苗の病害虫防除技術、効率的な複合環境制御技術などの開発を行っています。

施設野菜グループ

九州・沖縄地域は、わが国における重要な野菜生産拠点で、温暖な気候を活用した栽培が行われています。施設野菜グループでは、九州・沖縄の気象条件に対応した施設野菜の高収益・安定生産技術の確立を目標として、アスパラガスの半促成長期どり栽培での光合成産物の転流等の生理メカニズムの解明に基づく環境・生育制御技術や病害防除技術の開発に関する研究を行っています。また、リーフレタスなどの葉菜類の定時・定量・定品質・定価格生産を実現するため、環境条件を制御した人工光型植物工場での生産技術の開発に関する研究を行っています。



Q5 2年間の研修で、お金はどれくらい必要なの？

募集要項、案内等に記載されていますとおり、受験の際の受験料、2年間の研修期間中の授業料はいただいておりません。

A5

ただし、研修を受講するに当たっての教科書等の書籍、作業着・作業靴、現地研修旅行等に要する費用、寮自治会費、寮費（食費、水道光熱費）、傷害保険等の実費が必要です。

入所の際、年額（概算額）を一括して振り込んでいただきます。不足額が生じると見込まれる場合、2年生進級時に振り込んでいただくこともあります。

Q6 奨学金制度は利用できるの？

この制度は、学校法人に指定された、いわゆる「学校」ではありません。

A6

そのため、(独)日本学生支援機構(日本育英会の事業を引き継いだ独立行政法人)等の奨学金制度は利用できません。

しかし、農業次世代人材投資事業(準備型)や就農支援資金制度(都道府県の青年農業者等育成センター等による無利子での貸し付け、就農研修資金等)が利用できます。当研修制度は、農業次世代人材投資事業(準備型)全国教育機関に認定されており、それを利用している研修生もいます。その他、都道府県、市町村やJAで、将来地域で就農することを前提に、同様の制度を設けているところもありますので、最寄りの市町村役場、各都道府県の青年農業者等育成センター等へ問い合わせてみてください。

Q7 修了すると、短大卒の資格がもらえると聞いたのですが？

A6でお答えしましたように、学校法人に指定された「学校」ではないため、専門学校卒業扱いとなり、最終学歴は短大卒にはなりません。

A7

ただし、養成研修制度の修了者が国家公務員として採用される場合には、人事院規則(9-8)の規定により短大2年卒と同等に取り扱われます。

また、地方自治体の職員(地方公務員)等の採用試験の際に、短大卒の資格が適用された例もあります。

Q8 学割は使える？

A8

JR九州から学校に準じる施設としての指定をうけていますので、

JR(鉄道等)を利用して旅行する場合は、一般の学生と同様、学生割引が適用されます。

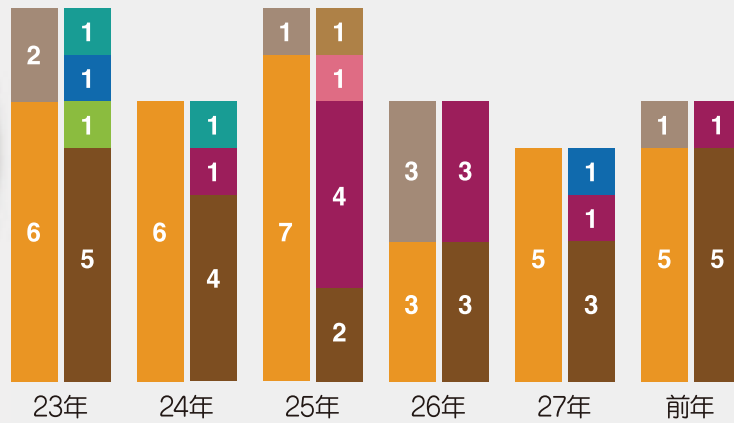
研修期間中、帰省等でJRを利用する場合は、久留米養成研修チームに申請して学割証の交付を受けてください。



なるりん

過去5年間の 農業技術研修生の 推移と進路状況

研修生の入所者数は
年々減少しておりますが、
修了生の約9割は就農あるいは
農業生産法人等へ
就職しています。



入学生の推移

- 九州内
- 九州外

卒業生の進路状況

- 自営就農
- 農業生産法人等
- JA
- 公務員等
- 進学
- 農業資材等
- その他

研修生 宿舎の生活 (耕心寮)

男子は原則全寮制で、全国からの受入が可能です。
(女子は自宅から若しくは民間賃貸住宅からの通学です。)
平成25年6月に完成した2階建てで、
個室には空調設備、インターネット環境及び
テレビ受信設備が完備されています。
寮の運営は、研修生による自治会で行っています。



寮費 (食費+水道光熱費) 月額 約48,000円



エントランス



食堂



個室



洗面所



お風呂

研修生活 について

2年間の研修生活では、
知識や技術だけでなく
仲間とのふれあかも
学んでいきます。



入所式



体育登山(高良山)



農業機械実習



体育(サッカー)



講義風景



植物工場実習



校外学習(田植え)



産地見学



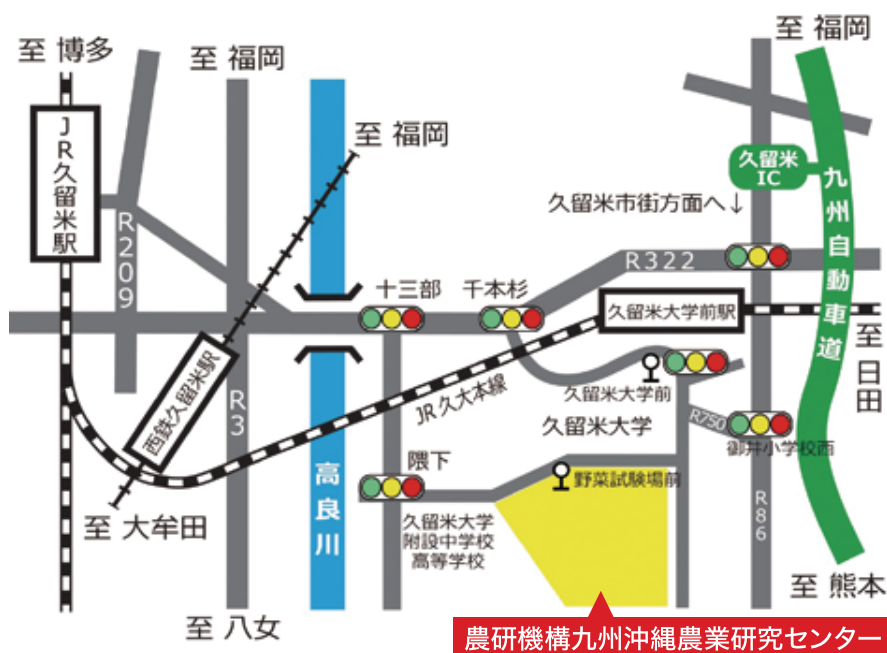
卒業論文発表会



修了式



アクセス



お問い合わせ



国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
九州沖縄農業研究センター筑後・久留米研究拠点(久留米)
企画部 産学連携室 久留米養成研修チーム

〒839-8503 福岡県久留米市御井町1823-1

TEL/0942-43-8314 FAX/0942-43-7014

<http://www.naro.affrc.go.jp/karc/yoken/index.html>

九州沖縄 農業技術研修

検索

